

波賀中だより

宍粟市立
波賀中学校
2024.4.25
4月号



自立への挑戦 ～自分を拓く、未来を拓く～

学校長 高井 和也

今年、桜を始め様々な草花が、春の訪れを待ちわびたかのように一斉に花開いた春でした。鮮やかに彩られていた山々の若葉も、爽やかな緑が少しずつ増えていき、命の躍動を感じる好季節となりました。

私は、本校二年目となる校長の高井和也です。波賀の郷が育んできた風土や伝統そして人々を大切にしながら、本校の学校教育目標である「波賀を愛し、みんなと共にくましく生きる生徒の育成」に努めていく所存でございます。昨年度に引き続き、本校教育に何卒ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年度は、初々しい二十名の新入生を含めた全校生徒六十四名、教職員二十一名でスタートしました。また、併設型小中一貫校「波賀学園」も二年目となり、昨年からの取り組み様々な交流行事を引き続き実施するとともに、小中学校の教員が相互に授業に入り、小中義務教育九年間を見通した教育活動を展開していきます。小中学校の連携、つながりを大切にしながら、さらに小中一貫校「波賀学園」の教育を推進していきたいと思っております。

さて、新年度のスタートとなる入学式において、私は生徒たちに本校の校訓「愛尊努省」の話とあわせて、次のような話をしました。

皆さんが素晴らしい人、信頼される人になるために、ぜひ、心の中に刻んでほしい原則があります。

それは、「A B C Dの原則」です。

Aは、当たり前のこと

Bは、馬鹿にせず

Cは、ちゃんとやる人が

Dは、できる人

あわせると「当たり前のことを、馬鹿にしないで、ちゃんとやる人が、できる人」という意味になります。

どんなに勉強や運動ができて、ゲームが上手でも、人として当たり前のことができない人は、信頼もされないし、素晴らしい人、すごい人とは言えません。「当たり前前」と思うことは人によって少しずつ違います。また、自分の「当たり前前」を無理やり人に押し付けることが正しいとは言えません。でも「あいさつをする」「返事をする」「人の話を聞く」「人の嫌がることはしない」とは人として基本のこと、「当たり前前」のことではないでしょうか。これからの学校生活、日常生活の中で、この「A B C Dの原則」を意識し、自分の行動や学級の行動、波賀中学生の行動を振り返りながら生活し、一人一人の当たり前前をバージョンアップさせていきたいと思います。そして、皆さん全員が「当たり前前」になることを期待します。

様々な価値観を大切にしながら多様性を認め合い、お互いを尊重し、共生していく社会がもたらされ、今、少しずつ実現しつつある世の中となりました。これまで「当たり前前」だったことや「常識」と思われていたことが、そうではなくなってきたことを感じる方も多いと思います。また、価値観の押し付けや同調圧力による生き方の強制が「生きづらさ」を感じさせていたことに社会

全体がようやく気付き、誰もがそれぞれの幸せの形をもとめるウェルビーイングの実現も進んできました。今後、そのような社会の実現をさらに進めていくためにも、みんなが心がけたい「当たり前前」は何なのかを考えたり、自らの言動や集団の在り方を振り返ったりしながら生活していくことが、社会にとっても学校にとっても大事なのではないかと思います。

子どもたち一人一人が、自ら「こういう自分になりたい」「こういう社会にしたい」という「在りたい未来」を描き、主体的に他者と協力・協働しながら、「在りたい未来」の実現に向けた課題を発見し、その解決に向け、新たな価値を創造していく力を育成する教育活動を「チーム波賀」一丸となって展開していきます。保護者、地域の皆様も「子どもとともに在りたい未来、大きな夢を見ながら、小さなことを少しずつ積み重ねていく」パートナーとしてのお力添えをよろしくお願い致します。

◆着任職員あいさつ◆

中井 孝一郎

この度、県教育委員会から波賀中学校へ転任となりました教頭の中井孝一郎です。波賀中学校での勤務は六年ぶり二回目となります。以前に比べ、生徒数は減少していますが、生徒たちの素直で明るい様子、元気で丁寧なあいさつなどは変わっておらず、大変うれしく思いました。教頭として校長を補佐しつつ、生徒のみなさんが「なりたい自分」に近づけるよう、各学年の取り組みをサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

越此 史郎

この度、一宮北中学校から転任してまいりました越此史郎です。七学年に所属し、くすのき学級の担任をさせていただきます。祖父母の家が原にあり、幼少期には、サイクリングターミナルでアマゴ釣りやつかみ取りをしたり、リング園でのリング狩りをしたり楽しかった思い出がたくさんあります。もう一つの故郷である波賀の地で働くことができ、大変うれしく思っています。

七十八年の伝統ある波賀中の一員として、一瞬一瞬を大切に生徒に寄り添い、全力で取り組んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。

菅原 裕之

本年度から波賀中学校で勤務することになりました。菅原裕之です。自宅は姫路で、冬の時期には千種や戸倉へは来ていましたが、今回の転勤で初めて宍粟の学校に勤めることになりました。長い通勤時間も宍粟の豊かな自然と桜並木を見ながらです。とても気持ちがいい毎日です。新しい場所のでわからないことも多いですが、生徒たちと共に学び、成長していこうと思っております。よろしくお祈りします。

上山 結菜

本年度から波賀中学校で勤務することになりました。上山結菜です。七年生、小学三・四年生の英語と、女子バレー部・スキー部を担当します。教員一年目で保護者の皆様や地域の皆様にお世話になると思いますが、情熱をもって子どもたちとともに成長していけたらと思います。山崎町出身ですので、波賀中学校の子どもたちに波賀の魅力を教えてもらいながら、これから頑張っていきたいと思っております。

井本 孝

四月より、兵庫型学習システム推進教員としてお世話になることになりました。波賀中学校で世話になるのは三回目です。一回目は、昭和四十五年から三年間、自分自身が中学生の時、二回目は教師(教頭)として勤めた時、そして今回です。子どもたちの素直さや清々しさを感じながらスタートしました。自分自身の母校に勤めさせていただくことは、大変光栄に思います。微力ながら力を尽くして頑張ります。地域・保護者の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

中村 一子

この度、一宮北小学校から異動してきました。用務員の中村一子です。どうぞよろしくお願い致します。



